

ハイケアユニット 2年間で1千床増加 特定集中治療室からの転換 26 病院

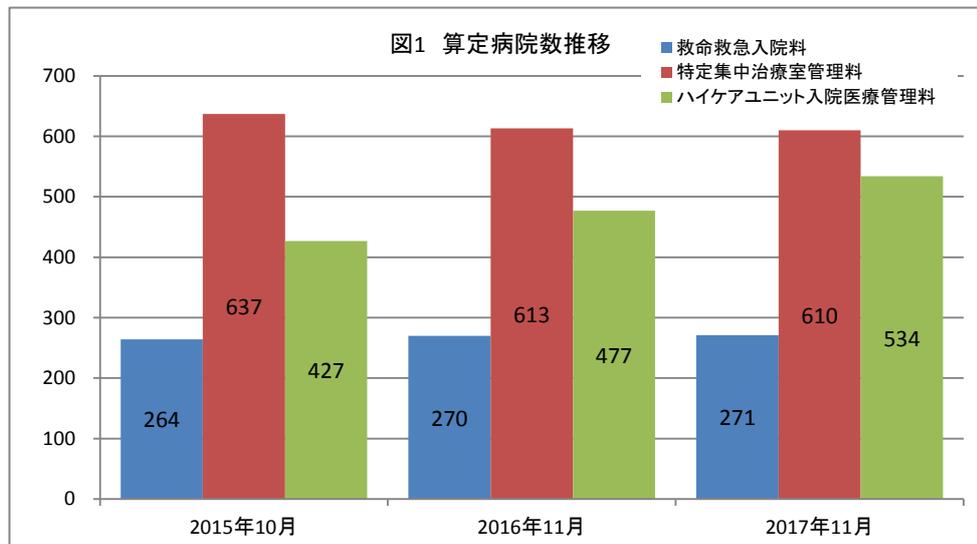
株式会社日本アルトマーク(以下、日本アルトマーク、東京都港区・代表取締役社長 伊倉雅治)は、高度急性期医療を担う病院の入院料に関する調査を実施いたしました。

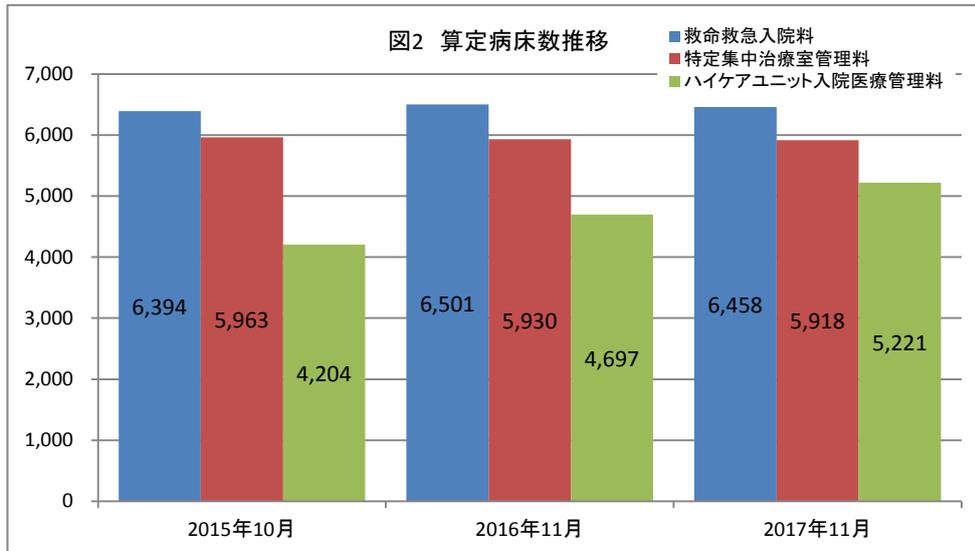
病床の機能は、2014年に始まった病床機能報告制度において高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性期機能の4つに分類されています。急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療の提供を担う高度急性期機能に該当すると考えられている病棟の入院料のうち、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料の算定状況について、2年間の推移と現在の状況をまとめました。

◇ハイケアユニット入院医療管理料 2年間で107病院1,017床増加

2017年11月時点で救命救急入院料を算定していた病院は271病院6,458床、特定集中治療室管理料610病院5,918床、ハイケアユニット入院医療管理料534病院5,221床であった。救命救急入院料および特定集中治療室管理料は東京が最も多く、救命救急入院料26病院637床、特定集中治療室管理料77病院858床であり、ハイケアユニット入院医療管理料は大阪が最も多く、59病院514床であった。(図1、図2、表3)

2015年11月から2017年11月までの2年間で、救命救急入院料は7病院64床増加、特定集中治療室管理料は27病院45床減少、ハイケアユニット入院医療管理料は107病院1,017床増加した。特定集中治療室管理料の算定がなくなった27病院のうち、26病院がハイケアユニット入院医療管理料に転換していた。(図1、図2)





◇一般7対1病院 算定病院数は多いものの割合低い

入院基本料ごとの算定状況を見ると、2017年11月時点の特定機能病院における特定集中治療室管理料の算定割合は97.6%であり、算定がない病院が2病院あることがわかった。また、高度急性期または急性期医療を担う一般7対1病院における算定割合は、救命救急入院料14.0%、特定集中治療室管理料32.2%、ハイケアユニット入院医療管理料28.2%であり、特定機能病院と比較すると低かった。(表1)

2018年度診療報酬改定で行われる入院基本料の再編が、これらの算定状況にどのように影響するのか、今後の動きに注目したい。

表1 入院基本料別の算定状況

2017年11月時点 病院数		算定 病院数・割合	救命救急入院料	特定集中 治療室管理料	ハイケアユニット 入院医療管理料
特定機能病院一般	85	病院数	51	83	35
		割合	60.0%	97.6%	41.2%
一般7対1	1,527	病院数	214	491	430
		割合	14.0%	32.2%	28.2%
一般10対1	2,177	病院数	4	30	63
		割合	0.2%	1.4%	2.9%
一般15対1	744	病院数	0	1	0
		割合	0.0%	0.1%	0.0%
専門病院	20	病院数	0	5	5
		割合	0.0%	25.0%	25.0%
その他	91	病院数	2	0	1
		割合	2.2%	0.0%	1.1%
合計	4,644	病院数	271	610	534
		割合	5.8%	13.1%	11.5%

※病院数…一般7対1、一般10対1病棟単位の届出の場合は一般7対1でカウント

※割合…入院基本料ごとの病院数に対する算定病院数の割合

病床規模別では、救命救急入院料および特定集中治療室管理料は500床以上の病院での算定が多かった。500床以上の病院は、病床規模別の病院数に対する算定割合が3項目とも高く、特定集中治療室管理料の算定割合は73.2%と特に高かった。ハイケアユニット入院医療管理料は300～399床の病院での算定数が最も多かったが、算定割合は500床以上の病院より低かった。(表2)

100床未満で救命救急入院料を算定していた病院は、救命救急センターが2病院と災害医療センターが1病院であり、特定集中治療室管理料やハイケアユニット入院医療管理料は、主に循環器病を診療している病院が多かった。

表2 許可病床規模別算定病院数

病床規模	一般病院	救命救急入院料		特定集中治療室管理料		ハイケアユニット入院医療管理料	
		病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
100床未満	2,971	3	0.1%	9	0.3%	8	0.3%
100～199床	2,351	1	0.04%	16	0.7%	55	2.3%
200～299床	776	0	0.0%	50	6.4%	89	11.5%
300～399床	558	22	3.9%	123	22.0%	158	28.3%
400～499床	325	52	16.0%	134	41.2%	92	28.3%
500床以上	380	193	50.8%	278	73.2%	132	34.7%
合計	7,361	271	3.7%	610	8.3%	534	7.3%

※割合・・・病床規模別の病院数に対する算定病院の割合

表 3 都道府県別算定病院数・病床数(2017年11月時点)

都道府県	救命救急入院料		特定集中治療室管理料		ハイケアユニット入院医療管理料	
	病院数	病床数	病院数	病床数	病院数	病床数
北海道	12	312	31	233	17	169
青森県	3	46	5	38	5	34
岩手県	3	56	2	34	3	35
宮城県	6	132	9	105	7	46
秋田県	1	30	3	30	4	40
山形県	3	62	6	35	4	38
福島県	3	85	7	81	5	56
茨城県	5	114	13	116	9	119
栃木県	5	118	5	76	6	47
群馬県	2	62	6	57	11	90
埼玉県	8	212	21	231	28	335
千葉県	12	296	26	292	20	232
東京都	26	637	77	858	54	622
神奈川県	20	515	41	390	36	380
新潟県	6	140	5	32	3	22
富山県	2	19	5	26	6	55
石川県	2	28	5	50	9	92
福井県	2	28	4	40	2	17
山梨県	1	16	2	22	2	14
長野県	7	97	12	84	16	158
岐阜県	6	116	9	74	4	46
静岡県	10	264	13	112	8	114
愛知県	22	598	34	321	11	88
三重県	3	54	5	34	9	79
滋賀県	3	76	7	56	2	14
京都府	5	148	13	132	7	67
大阪府	16	415	53	489	59	514
兵庫県	10	291	31	324	28	262
奈良県	3	94	5	51	8	55
和歌山県	3	72	5	32	5	30
鳥取県	2	29	1	18	6	58
島根県	4	41	4	41	2	12
岡山県	5	158	11	182	6	52
広島県	7	130	13	99	9	66
山口県	4	91	8	68	5	39
徳島県	2	64	2	21	2	14
香川県	3	54	7	64	8	74
愛媛県	3	56	8	66	8	67
高知県	3	68	4	44	4	36
福岡県	9	257	35	341	39	461
佐賀県	4	80	4	30	3	24
長崎県	2	43	6	64	10	95
熊本県	3	104	8	75	10	100
大分県	3	51	8	46	6	33
宮崎県	1	20	6	50	5	34
鹿児島県	3	44	9	110	8	62
沖縄県	3	35	16	144	15	124
合計	271	6,458	610	5,918	534	5,221

[図 1、図 2、図 3、表 1、表 2、表 3]

出典：(株)日本アルトマーク「病院の施設基準算定状況全国調査」

[参考 1]

項目		看護配置基準
救命救急入院料	救命救急入院料 1	4 対 1
	救命救急入院料 2	
	救命救急入院料 3	
	救命救急入院料 4	
特定集中治療室管理料	特定集中治療室管理料 1	2 対 1
	特定集中治療室管理料 2	
	特定集中治療室管理料 3	
	特定集中治療室管理料 4	
ハイケアユニット入院医療管理料	ハイケアユニット入院医療管理料 1	4 対 1
	ハイケアユニット入院医療管理料 2	5 対 1

(2016 年度診療報酬改定時点)

記事等へお取り上げくださる場合は、掲載誌を一部下記宛にご郵送いただけますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

株式会社日本アルトマーク

MDB 事業部 MDB オペレーション部 白井・竹下

〒108-0014 東京都港区芝 5 丁目 33 番地 1 号 森永プラザビル本館 15 階

TEL. 03-6809-6251(平日 9:00~17:30) FAX. 03-3453-4140

<http://www.ultmarc.co.jp>

【会社概要】

会社名	株式会社日本アルトマーク
代表者	代表取締役社長 伊倉 雅治
所在地	東京都港区芝 5 丁目 33 番地 1 号 森永プラザビル本館 15 階
資本金	5,550 万円
設立	1962 年 3 月
従業員数	121 名(2017 年 7 月 1 日現在)
事業内容	メディカルデータベース(MDB)事業